

(検証課題 1 - 用資料)

中学校選択制度の情報提供について

前回の本委員会において、「学校を選択するための情報提供が充分ではない」というご意見があった。情報提供の現状を確認し、情報提供の充実のために必要な方策について検討する。

1 これまでの取組・・・対象はすべて小学 6 年生

学校公開日等のご案内 (5 月)

実施日は学校によるが、5 月から月 1 回程度実施 (3 月は除く)

教育だより (全小中学生、7 月)

学校案内の配布・区 HP への掲載 (9 月)

選択制度の学校説明会 (9 月 ~)

(10 月 選択希望票提出)

入学の学校説明会 (2 月)

2 情報提供の充実策の検討

周知の対象を小学 5 年生まで拡大

効果 十分な期間の中で学校選択の検討が可能

課題 ・学校説明会等の参加人数増による会場確保難など

・費用の増加 (約 33,000 円、用紙代や通知郵送代)

想定) 学校案内を 6 年生に配布するときに該当ページを 5 年生に配布

学校公開や学校説明会の充実

(資料など)

○イラスト、写真等を使って学校の魅力を視覚的にアピール(学校案内でも利用)

○学校のホームページに掲載し、スマホでも閲覧できるようにする

(イベント)

○個別相談

○タブレット PC による学校紹介 (例 : スライドショー等の動画)

○模擬授業、部活動体験、ランチ体験

○校内自由見学 (ポイントラリー)

○生徒発表 (例 : 英語部スピーチ、ダンス部演技、合唱部や管弦楽部の演奏など)

○生徒による学校紹介や校内案内 (例 : 在校生によるパネルディスカッションやブレゼンテーションなど)

効果 ・学校独自の魅力発信

・内容によっては生徒とともに学校の魅力づくり 愛校心を育む

・学校ホームページ・学校案内と連携して学校の魅力をアピール

課題

・学校全体で魅力発信のための方向性を共有

・独自の魅力の発掘やアピール方法の検討 (既存コンテンツの活用も可能)